

**公益財団法人京都市芸術文化協会**  
**平成30年度 事業計画**

**I 自主事業**

当該事業は、会員が企画・運営する当協会の基幹的な事業であり、この事業を通じて、各分野における会員の拡大と芸術文化の普及・振興を図ることとします。

**1 芸術文化に関する調査研究及び情報の提供**

**(1) 機関誌『藝文京』の発行**

協会会員をはじめ、芸術文化関係者・関係機関、公共施設等を対象に、機関誌『藝文京』を年2回発行します。また、会員同士又は会員と外部の方を招いた一般公開の対談を芸術センター内で実施し、対談内容を機関誌に掲載します。

**(2) 協会ホームページの運営**

協会ホームページの運営を通じ、自主事業や会員催事情報等の告知、資料の公開など、芸術文化に関する情報発信を行います。

**2 各種芸術文化事業の実施及び奨励**

**(1) 各種芸術文化事業の実施**

実施日	事業名称	内容・出演等	会場
2月3日	第43回 京都ビッグ・バンド・フェスティバル	出演：京都府吹奏楽連盟所属団体 料金：1,000円	京都コンサートホール大ホール

**(2) 「京の文化絵巻2018」舞台事業**

希望する会員から事業プランを募集し、芸術センター内で舞台事業を実施します。

実施日	内容・出演等	会場
8月12日	芸文協会員から異分野交流の事業プランを募集（企画・交流委員会で選定） 料金：1,000円	京都芸術センター講堂

**(3) 各種芸術文化事業の奨励（後援・共催）**

会員が実施する事業に対して、後援・共催の支援を行います。

**3 芸術文化に関する教育及び普及**

**(1) 子ども芸術体験教室**

子ども芸術体験教室を、夏休み・冬休みの時期に実施します。

開催日	事業名称	講師等	会場
7月22, 28, 29, 8月4, 5日	夏休み 邦楽体験教室	講師：邦楽分野会員 ※成果発表：8月11日、講堂 (邦舞と同時開催)	京都芸術センター 大広間ほか
7月28, 29, 8月4, 5日	夏休み 邦舞体験教室	講師：邦舞分野会員 ※成果発表：8月11日、講堂 (邦楽と同時開催)	京都芸術センター フリースペース
7月24, 25, 26, 31 8月1日	夏休み 能楽体験教室	講師：公益社団法人能楽協会京都支部 ※成果発表：8月2日、大江能楽堂	京都芸術センター 大広間ほか
1月上旬 (2日間)	冬休み 芸術体験教室	平成30年度は写真分野で実施予定 ※作品展：1月中旬、インフォメーション	京都芸術センター ミーティングルーム2

## (2) 芸術体験教室

一般を対象とした芸術体験教室を実施します。

開催日	講師等	会場
調整中(秋に3日間程度)	講師：各分野会員	京都芸術センター ミーティングルーム2

## 4 芸術家等の育成及び顕彰

### (1) 芸術家等の育成

次代を担う芸術家育成等のため、展覧会を実施し、発表の機会を創出します。

開催日	事業名称	内容・出演等	会場
6月2日～3日	京都いけばなプレゼンテーション 2018	華道分野会員による「いけばなの日」イベント。 展示の他に、鼎談 <sup>ていだん</sup> 、レクチャー、ワークショップ など来場者参加型プログラムを充実して実施。	京都芸術センター 講堂、大広間ほか
1月中旬 ～2月中旬	藝文京展	第1回～4回の受賞者による選抜展  ※これまでのテーマ 第1回：工芸（装飾と暮らし） （入賞7点／入選33点） 第2回：平面（現代の平面～ひかりとかたち～） （入賞7点／入選33点） 第3回：文字（白と黒の調和） （入賞7点／入選25点） 第4回：立体造形（フォームとフィギュア） （入賞6点／入選23点）	京都芸術センター ギャラリー北・南

### (2) 芸術家等の顕彰

当協会に所属する会員を対象とし、京都市芸術文化協会賞として、近年の芸術文化活動が特に顕著な方や、芸術文化の向上に多大の功労があったと認められる方を、また、同新人賞として、新進で活発な芸術文化活動が認められる方や、今後の芸術文化活動においてさらにその活躍が期待される方を、それぞれ表彰します。

## 5 その他会員関連活動

### (1) 総会・懇親会

平成30年7月5日（木）に会員総会・懇親会を開催します。（会場：京都ホテルオークラ）

### (2) 会員増加に向けた取組

会員の増加を目指し、新規入会を促すツールとして、協会の魅力や活動状況などをまとめたリーフレットを作成します。

## II 受託事業

京都を新たな魅力に満ちた文化芸術都市として創生することを目指して制定された「京都文化芸術都市創生条例」及びその具体的な指針となる「第2期京都文化芸術都市創生計画（平成29年3月策定）」や「京都文化芸術プログラム2020+（平成28年8月策定）」に基づく事業を受託し、当協会の広範な芸術家のネットワークと文化事業の実績、ノウハウ等を活用して事業を実施することで、京都市の文化芸術行政の一翼を担います。

### 1 市民狂言会

伝統芸能である狂言を、楽しく気軽に鑑賞する機会を広く市民に提供するため、年4回、京都観世会館を会場に開催します。（6月8日、8月22日、12月7日、3月1日）

※ 前売2,500円 当日3,000円 年間席札8,000円 （8月22日のみ高校生以下500円）

### 2 子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出（京都文化芸術プログラム2020+関連事業）

#### （1）ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業

京都市内の小学校等を対象に、伝統芸能から現代美術まで、多様なジャンルのアーティストを講師として派遣し、特別授業を行います。

平成30年度は、伝統文化分野を中心に約50校で実施します。（茶道・華道などの授業を充実）

#### （2）ようこそ和の空間 伝統公演とくべつ授業

京都市内の中学生を対象に、和の文化を体感できる場所（能楽堂や歌舞練場等）において、伝統芸能を鑑賞する事業を実施します。

平成30年度は、1日2公演から2日4公演に倍増して実施します。

### 3 京都文化カプロジェクト2016 - 2020 事業

京都市、京都府、商工会議所の三者で構成される実行委員会からの受託事業として、美術工芸分野をテーマとし、屋外インスタレーションの公募展、シンポジウム、展示、ワークショップを開催します。

### 4 助成関係事業

#### （1）京都市助成金等内定者資金融資制度 融資窓口業務

#### （2）京都市芸術文化特別奨励制度 募集受付業務

#### （3）文化芸術顕彰制度 表彰業務

### 5 その他

#### （1）京都市新規採用職員研修

京都市の新規採用職員の研修として、茶道の講義と体験を実施します。

#### （2）教文伝統芸能シリーズ「能楽なう」

公益財団法人札幌市芸術文化財団からの受託事業として、次世代に向けて伝統芸能を継承するプログラム実施します。

開催日	内容	出演	会場
6月12日	能：宝生流「藤戸」 狂言：大蔵流「口真似」 能：観世流「善界」	小倉健太郎、林宗一郎ほか	札幌市教育文化会館

### Ⅲ 芸術文化活動拠点施設運営事業

京都における芸術文化活動拠点施設である京都芸術センターの運営を通して、芸術活動の支援、芸術文化情報の発信、芸術を通じた芸術家と市民等との交流を行うことで、芸術家や芸術に関係する者が連携して、京都における芸術を総合的に振興することを目的とする事業です。

当協会では、京都芸術センターが開設された平成12年4月から、京都市からの業務委託を受けてセンターの運営を行っており、平成18年度からは、地方自治法の改正に伴い、指定管理者として引き続き管理運営を行っています。

#### 【活動センター機能】

#### 1 伝統的芸術の継承・創造事業

##### (1) 明倫茶会

学術、芸術、文化、産業等の様々な分野で活動している方を席主として、趣向を凝らした茶会を開催します。(料金：1,000円)

開催日	席主(案)	内容
調整中	小崎哲哉(ジャーナリスト)	調整中
調整中	木ノ下裕一(木ノ下歌舞伎主宰)	調整中

※他1回予定

##### (2) 伝統芸能文化創生プロジェクト(五感で感じる和の文化事業から改称)

国立京都伝統芸能文化センター(仮称)の機能を強化推進するために、伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィスを設置し、伝統芸能や文化に携わる他機関・組織、実演家、職人、研究者とリサーチを通してネットワーク構築を行います。また、文化庁や構築したネットワーク先と連携し、下記の事業を重点的に行います。

- ① 伝統芸能文化に係る相談・対応
- ② 関係機関のネットワーク構築(伝統芸能文化をめぐる現状や課題を研究機関やネットワーク先と共有。シンポジウム&総合イベントの実施)
- ③ 伝統芸能文化復活・活性化公募プログラム(仮称)

伝統芸能文化の存続が危ぶまれる、道具や材料の枯渇、それを製作する職人や後継者問題、伝統芸能文化を担う人材不足などの問題に対し、総合的な視野から伝統芸能文化の振興に資するため、公募により復活・活性化のプログラムを行います。「保存」に直接関係することが要される既存の文化財行政では補助の対象とならない部分を補完する予定です。

また、伝統芸能文化を普及するために、次の催しを開催します。

#### ア 講座シリーズ

開催日	内容	会場
5月19日,7月7日,9月8日,12月8日	東京文化財研究所、黒川能保存会などを予定。リサーチ先と連携しながら講座を開催する。	京都芸術センター大広間

## イ シンポジウム&総合イベント

開催日	内容	会場
2月9日～10日	1つの芸能を取り上げ、その材料、道具、職人、実演家にいたるまで総合的に紹介・実演する総合イベントと、研究機関やネットワーク先と連携して新たな視点から紹介するシンポジウムを開催。	京都芸術センター 講堂・大広間

## ウ 先覚に聴く

開催日	内容	会場
3月9日	調整中	京都芸術センター 大広間

## 2 芸術家・芸術関係者育成事業

### (1) 京都国際ダンスワークショップフェスティバル2018

昨年に引き続き、ダンスアンドエンヴァイロメントと連携し、国際的に活躍する講師を招き、ダンスワークショップを実施します。テーマは「Bodylogue」。

開催日	講師
4月20日～5月6日	カティア・ムストネン（ドイツ）、アビゲイル・イェーガー（USA）、フランチェスコ・スカベッタ（ノルウェー）、坂本公成+森裕子（京都）、長内裕美（ベルギー）、チョン・ヨンドゥ（韓国）、マルセロ・エヴェリン（ブラジル）、川口隆夫（東京）、秋津さやか（スペイン）、森井 淳（大阪）

① ショーイング ＊以下のクラスはショーイングを行います。

開催日	講師	会場
5月6日	チョン・ヨンドゥ	フリースペース

② Youth Tank Project オーディション

プログラム	選考	受入先
京都×USA交換研修	アビゲイル・イェーガー	ノースキャロライナ芸術大学 (UNCSA)
京都×スウェーデンダンス エクステンジ	フランチェスコ・スカベ ッタ	ヴィトリケ・センター・フォー・パフ ォーミング・アーツ
京都×ソウルダンスエク ステンジ	チョン・ヨンドゥ	DOO DANCE THEATER

その他、明倫ボディサロン（身体メンテナンスと情報交換、参加者、講師等の交流を行う場）、ドキュメントアクション（dance+と連携しアーカイブを公開）、スカラシップ制度（専門家からの推薦を受けたダンサーのサポート）も併せて実施します。

### (2) トラディショナル・シアター・トレーニング2018 (T.T.T.)

国内外の芸術家・研究者等を対象に、日本の伝統芸能である能、狂言及び日本舞踊に関する基礎知識・技術等を習得してもらうためのプログラムを実施します。

平成30年度は、能、狂言及び日本舞踊等のオリエンテーションとワークショップ（7月18日）の後、各コースに分かれトレーニング（7月19日～8月9日）を行い、大江能楽堂で成果発表（8月10日）を行います。

対象	定員	講師	受講料
演劇・ダンスなど舞台芸術に関わる表現活動、または研究活動を行っている者	24名 (日本舞踊・能・狂言 各8名程度)	能：片山伸吾・田茂井廣道・大江信行 狂言：茂山あきら・茂山童司・丸石やすし 日本舞踊：若柳弥生	一般90,000円 学生85,000円 ※リピーター割引有

※ プログラム・ディレクター：マシュー・ショアーズ

### (3) アートマネジメント人材養成プログラム

平成30年度は、アーティスト・イン・レジデンスをテーマに研修を行います。

開催日	内容	会場
1月～2月 (1週間程度)	アーティスト・イン・レジデンス事業をこれからはじめようとする方、はじめたばかりの方を主な対象に、課題解決に向けたワークショップを開催する。あわせて、ノウハウの共有とネットワークの構築のためのプラットフォームを提供。	調整中

### (4) KAC Performing Arts Program 2018

#### ① Contemporary Dance

#### ア 「シティⅠ・Ⅱ・Ⅲ」

(ア) 新作公演 「シティⅠ・Ⅱ・Ⅲ」

中堅、若手ダンサーによる都市の身体をテーマとしたテキストを用いた新作公演。

開催日	内容	会場
クリエイション：8月～1月 本番：1月26日、27日	振付・出演：振子びじん 他 戯曲：カゲヤマ気象台	京都芸術センター講堂

#### (イ) 関連ワークショップ&ショーイング

路上生活者の身体に着目したダンスワークショップと小作品のショーイング。

開催日	内容	会場
8月17日、18日	ワークショップ講師：ソケリッサ！（アオキ裕キ）	京都芸術センター講堂

#### (ウ) 批評プログラム

上記の公演に合わせて、批評プログラムを実施。舞踊を記録し記述することの問題提起と実践を行うことで、「舞踊を観る」ことの魅力を視覚的に発信。

開催日	内容	会場
1月26日	調整中	京都芸術センターミーティングルーム2

## イ 「KAC TRIAL 試演会&メソッド・パーティー！」

### (ア) 「KAC TRIAL 試演会」

開催日	内容	会場
11月17日	公募による振付家・ダンサー5組による15分以内の創作中の作品の試演会	京都芸術センター フリースペース

※試演後は観客同士による感想をシェアするプログラムを開催する。

※感想シェアプログラム終了後、アフターラウンジとして交流会を開催する。

### (イ) 「メソッド・パーティー！」

開催日	内容	会場
11月18日	公募3組およびゲストアーティストによる、開発中のワークショップ実践とフィードバック	京都芸術センター フリースペース

※終了後、参加アーティストによるトークを行う。

## ウ 「フィリップ・ドゥクフレ ダンスワークショップ」

開催日	内容	会場
7月中旬 (3日間)	世界的に活躍する振付家フィリップ・ドゥクフレによるワークショップ	京都芸術センター 講堂

## ② Music 「タイトル未定」

音楽以外の分野のアーティストと新しい音空間をつくり、音楽ファンだけでなく、演劇をはじめ他のジャンルの顧客を呼び込み、客層の拡大を狙う、2本の創作プログラムを実施する。

開催日	内容	会場
2月16、17日	中川裕貴作曲「タイトル未定」	京都芸術センター 講堂
3月16日、17日	増田真結作曲 「物語る機能Ⅲ 一告白」	京都芸術センター 講堂

## ③ Traditional Performance 「継ぐこと・伝えること」

「越境」をキーワードに、30、40代の若手・中堅の実演家たちを取り上げ、トークと実演でその芸能の魅力を伝える。

開催日	内容	会場
7月	「日本舞踊（仮）」 出演：調整中	京都芸術センター 講堂
1月	「落語（仮）」 出演：調整中	京都芸術センター 講堂

## ④ Cotemporary Theater

### ア 「演劇計画Ⅱ～戯曲創作～」『S/F -到来しない未来』

劇作家・松原俊太郎と山本健介がテーマに沿って戯曲創作を行い、3年間での完成を目指します。

戯曲創作と並行して、科学と虚構に関する研究者や作家で構成する「KAC S/F Lab.」を立ち上げ定期的にオープンラボを行います。また、その成果はウェブサイトにてアーカイブとして随時公開します。

(ア) 第2稿を基にした作品の創作と展示

開催日	内容	会場
調整中	「計画と実践-松原俊太郎」 ゲスト作家による戯曲を用いた創作	調整中
調整中	「計画と実践-山本健介」 ゲスト作家による戯曲を用いた創作	調整中

(イ) KAC S/F Lab.

開催日	内容	会場
5月19日	vol.6「流通する言語、行動する言語」 ゲスト：調整中	調整中
8月11日	vol.7「計画と課題—松原俊太郎、山本健介」 ゲストによる戯曲第二稿の批評会	調整中
調整中	vol.8「自然環境と情報環境」 ゲスト：調整中	調整中
調整中	vol.9「科学と虚構」 完成した戯曲に基づくゲストを招いたシンポジウム	調整中

イ 新演劇事業「当事者の方法、劇の方向（仮）」

若手演出家、山口恵子（BRGD）による1年間を通したリサーチと、専門家等とのディスカッション、リサーチの報告を踏まえたワークインプログレス公演を通して、多様化する演劇の技法や演劇自体のあり方を問います。

(ア) ディスカッション&ショーケース

開催日	内容	会場
6月中旬	ディスカッション参加：山口恵子（BRGD）ほか ゲストアーティストによる上演：萩原雄太（かもめマシーン）	京都芸術センター フリースペース

(イ) ワークインプログレス上演

開催日	内容	会場
10月12日、2月1日	リサーチャー：山口恵子（BRGD）ほか	調整中

(5) KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭2018

今回で9回目になる国際舞台芸術祭。10月5日から28日まで国内・海外から先駆的な取組を行っている演出家を招へいし、舞台芸術の祭典を開催します。

京都芸術センターでは、以下の3つの公式プログラムを実施します。

開催日	内容	会場
10月5日～21日	Roberta Limaによるインスタレーションとパフォーマンス	京都芸術センター 講堂
10月26日～28日	Q.市原佐都子による公演	京都芸術センター 講堂
10月～11月	山城知佳子による展覧会とパフォーマンス	京都芸術センター ギャラリー南・北



### (6) 関西の若手グループ展

開催日	事業名	内容
4月14日～5月27日	『ニューミュージーションー変・進・深化』	若手グループ展 出展作家：加藤巧、西條茜、高畑紗依

### (7) 中堅ベテラン企画展「Focus 2018」

開催日	事業名	内容
7月24日～9日9日	タイトル未定	中堅作家・木内貴志による個展

### (8) キュレーター・リサーチプロジェクト（仮）

開催日	事業名	内容
2月～3月	キュレーター・リサーチプロジェクト（仮）	若手キュレーターによるリサーチと企画展 ゲストキュレーター：青木彬

## 3 先駆的・実験的事業

### (1) ニュイ・ブランシュ KYOTO 2018

アンスティチュフランセ関西と共同でニュイ・ブランシュ(白夜祭)を10月5日(金)に実施します。

内容	会場
フランス人振付家Myriam Lefkowitz（ミリアム・レフコウィッツ）による会場回遊型のパフォーマンスと展示（予定）	京都芸術センター、館内各所

## 4 制作・発表支援事業

### (1) 制作支援事業（制作室使用者募集）

京都芸術センター制作室の使用者を公募し、審査のうえで1申請につき最長3ヶ月間無料で提供。年2回（3月及び9月）募集します。

### (2) Co-program2018

京都芸術センターと共同で行う事業プランを公募し、選出した事業を実施します。

#### ① カテゴリーA：「共同制作」（公演事業）5件

実施時期	事業名	団体名	内容
5月	Ensemble FOVE plays Yuta Bandoh's TRANS	Ensemble FOVE	音楽
10月	第26次笑の内閣「アイドル契約地獄（仮）」	笑の内閣	演劇
11月	MuDA 公演「立ち上がり続けること」	MuDA	ダンス
12月	Beyond here Now   サウンド/ドラマ（仮）	荒木優光	サウンド・インスタレーション、パフォーマンス
1月	神里雄大／岡崎藝術座 新作公演「僕がいるはずだった日系社会（仮）」	岡崎藝術座	演劇

② カテゴリーB：「共同開催」（展覧会事業）1件

実施時期	事業名	団体名	内容
6月～7月	「Tips」展（仮）	宮坂直樹	出展作家（池田剛介、熊谷卓哉、小松千倫、三野新、宮坂直樹）による企画展

③ カテゴリーC：「共同実験」（リサーチ、レクチャー、ワークショップ等）7件

実施時期	事業名	団体名	内容
4月1日～4日	第2回Kyoto Dance Workshop	全京都洋舞協議会	ダンス
調整中	京都で記憶する	渡邊朋也	レクチャー、勉強会、フィールドワーク
調整中	日常との憑依	武田力	ワークショップ、日常における身体様式のリサーチ
調整中	変動する庭、変動させる庭 ー小川治兵衛の庭をめぐる	山内朋樹＋池田剛介	フィールドワーク
調整中	ゴーストと化して自らを踊らせよ	増田美佳	ワークショップ
調整中	定点観測	柳生二千翔	演劇
調整中	第11回 森悠子のプロペラプロジェクト 子ども音楽道場	NPO法人音楽への道CEM	音楽

④ カテゴリーD：「KAC セレクション」（演劇、ダンス、音楽、伝統芸能等の舞台芸術の分野で、発表に限定して支援を行います。） 17件（全件調整中）

（3） U35 創造支援事業 「KIPPU」

京都芸術センター制作室で制作し、ロームシアター京都ノースホールで発表する35才以下のアーティストを公募し、両施設による審査を経て2～3件を選出。批評の依頼や制作面のアドバイスも行います。

## 【情報センター機能】

### 1 芸術文化情報の収集・発信事業

#### (1) 図書室の運営

センター主催事業のアーカイブ及びそれに準じる芸術文化に関する資料の収集と保存を主な目的とし、センターならではの資料室としての役割を強化します。

蔵書のうち、目的に見合う図書等約5,000冊、ビデオ等約500本を選択のうえ、閲覧に供し、芸術センターで実施する展覧会や公演会等の題材をテーマにした特別企画も開催します。

#### (2) 情報コーナーの運営

芸術文化に関するイベント情報等のポスター、チラシ等を収集し、年間約700種を掲出します。

#### (3) 通信紙（京都芸術センター通信）の発行

京都芸術センター事業の広報をはじめ国内外の芸術文化に関する情報を掲載した通信紙を、芸術関係者・機関、図書室、公共施設等を対象に、毎月発行します。

#### (4) 京都芸術センターホームページ

京都芸術センターの施設案内、イベント情報等を発信します。

#### (5) 京都文化芸術オフィシャルサイト（KYOTO ART BOX）

国民文化祭・京都2011を契機とし、より多くの方が文化芸術に親しめるよう、京都市の文化芸術全般の情報を集約したホームページを運営します。平成27年度より京都芸術センター事業として実施しています。

### 2 教育普及事業

#### (1) インターンシップ・プログラム

これまで夏に大学コンソーシアム等と連携しインターンを受入れてきましたが、専門性を高め、経験や知識の習得がスムーズと考えられる事業単位での募集に変更して実施します。

## 【交流センター機能】

### 1 国際交流事業

#### (1) アーティスト・イン・レジデンス

国内外の組織と連携し、京都での滞在制作やリサーチ、また京都を拠点とする芸術家等の海外での滞在制作やリサーチ等を積極的に進める事業を実施、支援しています。

#### ア 【京都での滞在制作】

滞在期間	参加者名 (連携先)	居住国/ジャンル	区分
6月～7月	Engel Leonard	ドミニカ共和国/美術	連携 (Videobrasil)
9月～11月	Marios Joannou Elia	キプロス/音楽	公募
8月～10月	Gerwyn Davies ※ANEWAL GALLERY との連携 ※AIR Alliance Platform として実施	オーストラリア /美術	エクステンジ (Australia Council for the Arts)
8月～9月	Instrument Builders Project	インドネシア、 オーストラリア /音楽、美術	共同制作 (インドネシア、 オーストラリア)
8月～10月	Manuel Infante ※Kyoto Experiment との連携	演劇	連携 (Kyoto Experiment)
9月～10月	調整中	未定/美術	エクステンジ (A4 Art Museum)
2月～3月	調整中	未定/ダンス	エクステンジ (Seoul Dance Center)

#### イ 【海外での滞在制作】

滞在期間	参加者名 (連携先)	渡航先/ジャンル	区分
6月～7月	田村興一郎	韓国 (ソウル) / ダンス	エクステンジ (Seoul Dance Center)
夏頃	佃七緒 ※ANEWAL GALLERY との連携 ※AIR Alliance Platform として実施	オーストラリア (シドニー) /美術	エクステンジ (Australia Council for the Arts)
9月～10月	調整中	中国 (成都) /美術	エクステンジ (A4 Art Museum)
秋頃	合田有紀、野村香子	ドイツ (ケルン) /ダンス	エクステンジ (KYOTO. Köln /Quartier am Hufen)
秋頃	相模友士郎	スペイン (バルセ ロナ) /ダンス	エクステンジ (Graner)

#### (2) アーティスト・イン・レジデンス Res Artis ミーティング 2019 in Kyoto (仮)

世界最大のアーティスト・イン・レジデンスのネットワーク組織である Res Artis (レザルティス) と共同で、日本も含め世界各地から参加者や登壇者を招き、国際的な視野から討議します。また、分科会やワークショップ、日本のアーティストの実演を鑑賞するショーイングも開催するなど、アートの現場を牽引する登壇者、参加者に日本のアートシーンとのネットワークを構築する機会とします。

※ 日時：2月6日～10日

会場：京都芸術センター ほか

### (3) AIR Alliance Platform (再掲)

京都の他のレジデンス施設・団体と協働し、京都全体で行うレジデンスプログラムを試行します。ANEWAL GALLERYとの連携を予定しています。

対象プログラム	アーティスト名	関係施設・団体名
Kyoto AIR Alliance Platform + Australia Council for the Arts	Gerwyn Davies／佃七緒	ANEWAL GALLERY

### (4) その他

2019年に開催される以下の事業の準備を他の関係機関と連携し行います。

- 第25回国際博物館会議京都大会 ICOM KYOTO 2019 25th General Conference
- Visual Arts Focus 2019 (仮) (関係機関：アンスティテュ・フランセ関西)
- ポーランド・ウィーク 2019 (仮) (関係機関：アダム・ミツキェヴィチ財団)

## 2 市民及び芸術家相互の交流事業

### (1) みみききプログラム

音に着目したシリーズで実施します。

※素謡の会、明倫レコード倶楽部、Kyo×Kyo×Todayを再構成したシリーズ

#### ア 素謡の会

能楽に気軽に触れてもらうために、素謡の上演、曲の解説等を行います。

開催日	内容	会場
5月13日	素謡の会 出演：吉浪壽晃、田茂井廣道、樹下千慧 ゲスト：三木学（色彩学者）	京都芸術センター 大広間 ほか
9月15日	謡曲ひとめぐり 出演：河村晴道、味方玄、田茂井廣道、曾和鼓堂 （囃子方）	
12月18日	素謡の会 観世流×金春流 出演： （観世流）林宗一郎、田茂井廣道 （金春流）高橋忍、山井綱雄 （太鼓方）白坂信行	
3月28日	素謡の会×地点 出演：浦田保親、大江信行、田茂井廣道、深野貴彦、 三浦基ほか	

#### イ 明倫レコード倶楽部

開催日	内容	会場
4月21日	SP・LPレコードを使用するレコード音楽鑑賞会を 開催 講師：いしいしんじ	京都芸術センター 講堂
9月1日		
12月1日		
3月2日		

#### ウ 京都市交響楽団アンサンブルコンサート Kyo×Kyo×Today

開催日	内容	会場
調整中	京都芸術センターの会場の雰囲気を活かし、演奏者と聴衆が近い距離で音楽を楽しむ演奏会を、京都市交響楽団との共同主催事業として開催	京都芸術センター 講堂

## (2) 明倫ワークショップ

制作室使用者が市民との交流事業を行うワークショップを無料で実施します。

※期間や時間帯を集中させる等、実施方法の変更を検討します。

## (3) 明倫アワー

建畠館長が毎回ゲストを迎え、旬なトピックで話をします。年2回の開催を予定しています。

## 3 地域・学術・産業との連携事業

### (1) ボランティア・スタッフ

ボランティア・スタッフは、京都芸術センターの活動をさまざまなかたちで支えています。また、ボランティア・スタッフによる有志の自主的活動である、京都芸術倶楽部や古典芸能勉強会、茶の湯サロンいっぷくなどの実施を通じて、センターとボランティアの方々との交流をさらに深めます。 ※ 登録者数：426名（平成30年3月1日現在）

### (2) 地域との連携事業

開催日	事業名
調整中	ペトロフ・ピアノコンサート (主催)明倫ペトロフの会、明倫自治連合会
11月10日～11日	明倫フェスタ (主催)明倫自治連合会
1月8日～13日	祇園祭山鉾木工品調査・展示(仮) (主催)祇園祭山鉾連合会

## 4 ネットワーキング

### (1) 京都文化芸術コア・ネットワークの運営

京都を中心に文化芸術を支える専門的活動を行う者が、多種多様な情報を収集、編集、発信するため、情報交流のプラットフォームとしての京都文化芸術ネットワークを運営します。総会1回、例会複数回の開催を予定しています。

### (2) パートナーシップ／ネットワーク

京都市内外の他機関とのパートナーシップにより連携機能を強化し、幅広いネットワークを構築することを目指します。

※連携機関：東山アーティスト・プレイスメントサービス（HAPS）実行委員会等

### (参考) ギャラリー事業 スケジュール

開催日	事業名	内容
4月14日～5月27日	New Advent 2018 『ニューミュージアム変・進・深化』	若手グループ展 出展作家：加藤巧、西條茜、高畑紗依
6月～7月	Co-Program カテゴリーB 「Tips」展(仮)	宮坂直樹の企画によるグループ企画展。 出展作家：池田剛介、熊谷卓哉、小松千倫、三野新、宮坂直樹
8月～9月	Focus 2018 『タイトル未定』	中堅作家の個展 出展作家：木内貴志
10月～11月	KYOTO EXPERIMENT2018	女性アーティストによる個展 出展作家：山城知佳子(予定)
12月	調整中	調整中
1月～2月	藝文京展	これまでの入選作家による選抜展
2月～3月	キュレーター・リサーチプロジェクト(仮)	若手キュレーターによるリサーチと企画展 ゲストキュレーター：青木彬